

【総括表】

平成25年度予算要求（要求の状況）

(H24. 12. 27現在)

連合議会の総務常任委員会で報告・協議の上、次回の連合委員会にて予算原案を取りまとめ。

最終的には、3月議会に提出する予算議案として、2月下旬に発表。

| 〔7分野の取り組み〕 | 平成25年度 (要求額) | 平成24年度 (当初予算) | 25-24差 | 増減率 |
|-----------------------------|-------------------------------------|----------------------|--------------------|--------------------|
| ○ 広域防災 | 17,185 | 17,425 | △240 | △1.4% |
| ○ 広域観光・文化振興 | 27,831 | 21,272 | 6,559 | 30.8% |
| └○文化振興 | (外数)4,000 | — | 4,000 | 皆増 |
| ○ 広域産業振興 | 34,647 | 27,854 | 6,793 | 24.4% |
| └○農林水産 | (外数)2,357 | — | 2,357 | 皆増 |
| ○ 広域医療 | 633,520 | 215,738 | 417,782 | 193.7% |
| ○ 広域環境保全 | 26,458 | 25,928 | 530 | 2.0% |
| ○ 資格試験・免許 (資格試験人件費を除く場合) | 113,506 (66,006) | 52,517 (14,517) | 60,989 (51,489) | 116.1% (354.7%) |
| ○ 広域職員研修 | 4,139 | 3,420 | 719 | 21.0% |
| 〔中長期的な視点からの広域課題への対応〕 | 81,168 | 84,408 | △3,240 | △3.8% |
| 〔成長する広域連合としての的確な運営〕 | 267,935 (資格試験人件費を含む場合) (315,435) | 205,905 (243,905) | 62,030 (71,530) | 30.1% (29.3%) |
| 総計 | 1,212,746 | 654,467 | 558,279 | 85.3% |

(単位：千円)

- 1 広域防災 ④17,425千円→⑤17,185千円 <広域防災局>
 広域応援体制の強化[府県民への普及啓発] (④1,752千円→⑤4,408千円)、関西広域応援訓練 (③8,011千円) など
 - 2 広域観光・文化振興 ④21,272千円→⑤31,831千円 <広域観光・文化振興局>
 KANSAI 国際観光 YEAR2013の実施 (④0→⑤10,910千円)
 「アジアの文化観光首都」を目指して国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に発信するため「食文化」をテーマに官民が連携して、強力なPR活動を行う。
 山陰海岸ジオパーク活動の推進[「地質の道」関係] (④1,000千円[うち0]→⑤1,000千円[うち600千円])
 広域観光連携の戦略的取組みの一つとして、優れた地質景観スポットを「地質の道」として提案・PRする。
 ・山陰海岸ジオパークのトップセールス、観光セミナーの開催
 ・外国人観光客向けガイドブック等で「地質の道」をPR
 文化振興：関西文化の魅力発信 (④0→⑤4,000千円)
 ・人形浄瑠璃をテーマにした「文化の道」事業の推進（人形浄瑠璃団体への支援 等）
 ・「古典の日」の普及啓発（普及のためのタイアップ事業の展開、啓発リーフレットの作成）
 ・関西の文化に親しむ機会の充実（「祭りの道」等展開のための有識者会議の設置、情報発信 等）
 - 3 広域産業振興 ④27,854千円→⑤34,647千円 <広域産業振興局>
 (※農林水産と合わせて37,004千円)
 関西イノベーション国際戦略総合特区効果の広域連合域内への波及促進 (④0→⑤3,116千円)
 特区メリットの理解及び活用促進、医療機器分野参入のための医療機器相談等
 海外プロモーションの実施及び関西ブランドの発信 (④0→⑤8,022千円)
 農林水産の振興 (④0→⑤2,357千円) <広域産業振興局農林水産部>
 ・「関西広域農林水産ビジョン」の策定、「おいしい!KANSAI召しあがれ」プロモーション事業 など
 - 4 広域医療 ④215,738千円→⑤633,520千円 <広域医療局>
 ドクターヘリ運行体制④212,774千円→⑤630,446千円[うち国庫312,690]
 ・事業移管 大阪ヘリ・徳島ヘリを連合へ事業移管 (H25.4～)
 ・事業主体 大阪ヘリ・徳島ヘリ：連合からの各基地病院（阪大・県立病院）への委託
 豊岡ヘリ：連合からの基地病院（豊岡病院組合）への補助
 ・負担金割合 現行：豊岡ヘリ[人口・実績各1/2] →変更後：3ヘリともに実績割に一本化
 (規約改正) (当該ヘリごとに関係府県の実績按分)
 ※大阪ヘリ、徳島ヘリの和歌山県への運行負担金は相互応援方式(大阪、徳島負担)を継続。
 - 5 広域環境保全 ④25,928千円→⑤26,458千円 <広域環境保全局>
 カワウ以外の他の鳥獣（シカ、イノシシ等）対策の検討 (④0→⑤587千円)
 カワウ以外(シカ、イノシシ、外来獣等)の新たな鳥獣について、平成26年度からの第IIフェーズ以降の具体的な施策の検討を行うための基礎となる検討事業を実施する。
 - 6 資格試験・免許 ④52,517千円→⑤113,506千円※手数料収入にて実施 <本部事務局>
 調理師・製菓衛生師、准看護師の試験の開始(平成25年度～)
 5人体制（事務4、専門(保又は看)1）でスタート。試験実施が定着すれば手数料の引下げも検討。
 - 7 広域職員研修 ④3,420千円→⑤4,139千円 <広域職員研修局>
- 中長期的な視点からの広域課題への対応 ④84,408千円→⑤81,168千円 <本部事務局ほか>
 次期広域計画の策定(④0→⑤3,250千円)
 ○国出先機関対策(④68,608千円→⑤68,735千円) ○広域インフラ検討(④3,000千円→⑤3,000千円)
 ○エネルギー対策(④9,800千円→⑤3,183千円) ○首都機能バックアップ構造の構築
 (④3,000千円→⑤3,000千円)
- 成長する広域連合としての的確な運営 ④205,905→⑤267,935千円 <本部事務局>
 人件費増（政令市派遣職員の通年化等）の一方で、事務的経費の節減など効率的な運営を図る。

平成25年度主な取組について(要求ベース)

(H24.12.27現在)

参考資料

〔7分野の取り組み〕

(単位:千円)

| I 広域防災 (㉔17, 425 ㉕17, 185) | | |
|---|---|---------|
| (1) 広域応援体制の整備 | ○ 「関西防災・減災プラン」の充実・発展 | 3,275 |
| | ○ 災害発生時の広域応援体制の強化 (一部新規) | 4,408 |
| (2) 防災・減災対策の推進 | ○ 関西広域応援訓練 | 8,011 |
| | ○ 防災分野の人材育成(一部新規) | 1,081 |
| (3) 災害対応 | | 410 |
| II 広域観光・文化振興 (㉔21, 272 ㉕27, 831 文化振興㉕4,000) | | |
| (1) KANSAIブランドの構築 | (新) ○ KANSAI国際観光YEAR2013の実施(新規) | 10,910 |
| | ○ 海外観光プロモーションの実施 | 10,636 |
| | ○ KANSAI観光大使の任命と活用 | 490 |
| | ○ 新発見KANSAI百景の活用 | 1,000 |
| | ○ 山陰海岸ジオパーク活動の推進 | 1,000 |
| (2) 基盤整備の推進 | ○ 通訳案内士等の人材育成 | 2,302 |
| | ○ 関西全域を対象とする観光統計調査 | 1,083 |
| (3) 文化振興 | (新) ○ 関西文化の魅力発信(新規) | 4,000 |
| III-1 広域産業振興 (㉔27, 854 ㉕34, 647) | | |
| (1) 「関西広域産業ビジョン2011」の着実な推進 | ○ 広域産業振興の取組にかかる啓発及び評価・検証 | 1,358 |
| (2) イノベーション創出環境・機能の強化 | ○ 産業クラスター連携 | 1,779 |
| | (新) ○ 関西イノベーション国際戦略総合特区効果の広域連合域内への波及促進 (新規) | 3,116 |
| (3) 中堅・中小企業等の国際競争力の強化 | ○ 合同プロモーションの推進 (一部新規) | 13,137 |
| | ○ ビジネスマッチングの促進 | 10,410 |
| | ○ 公設試験研究機関の連携 | 2,565 |
| (4) 地域経済の戦略的活性化 | ○ 地域資源の活用 | 5,491 |
| | ○ 新商品調達認定制度によるベンチャー支援 | 1,308 |
| (5) 高度人材の育成・確保 | (新) ○ 産官学による高度産業人材の育成・確保の推進 (新規) | 564 |
| III-2 広域産業振興(農林水産部) (㉕2, 357) | | |
| (1) 関西広域農林水産ビジョンの策定 | (新) ○ 関西広域農林水産ビジョンの策定(新規) | 541 |
| (2) 地産地消の推進 | (新) ○ “おいしい! KANSAI召し上がれ”プロモーション事業(新規) | 520 |
| | (新) ○ “おいしい! KANSAI召し上がれ”キャンペーン事業(新規) | 886 |
| IV 広域医療 (㉔215, 738千円 ㉕633, 520千円) | | |
| (1) 関西広域救急医療連携計画の推進 | ○ 関西広域救急医療連携計画の戦略的推進 | 1,322 |
| (2) 広域医療体制の確立 | ○ 広域的ドクターヘリの配置・運航(拡充) | 630,466 |
| | ○ 広域災害医療体制の整備 | 192 |
| (3) 人材育成 | ○ 救急医療人材等の育成 | 1,150 |

| V 広域環境保全 (㉔25, 928 ㉕26, 458) | | |
|---------------------------------|------------------------------------|--------------|
| (1) 関西広域環境保全計画の推進 | ○ 関西広域環境保全計画の戦略的推進 | 1,599 |
| (2) 温室効果ガスの削減のための広域取組 | ○ 住民・事業者啓発(拡充) | 2,286 |
| | ○ 関西スタイルのエコポイント | 1,387 |
| | ○ 電気自動車普及促進 | 1,412 |
| (3) 府県を越えた鳥獣保護管理の取組 | (新) ○ 関西地域カワウ広域保護管理計画の推進(新規) | 18,777 |
| | (新) ○ その他鳥獣対策の取組(新規) | 587 |
| VI 資格試験・免許 (㉔52, 517 ㉕113, 506) | | |
| (1) 資格試験・免許の本格実施 | ○ 調理師・製菓衛生師 | 66,006 |
| | ○ 准看護師 | 上記に含む |
| VII 広域職員研修 (㉔3, 420 ㉕4, 139) | | |
| (1) 広域的な視点の養成、業務執行能力の向上 | ○ 政策形成能力研修の実施 | 3,933 |
| | を図り、職員間の交流につなげる取組 | ○ 団体連携型研修の実施 |
| (2) 集約化による効果を期待する取組 | (新) ○ WEB型研修の実施に向けた検討(新規) | など |
| VIII 企画調整 (㉔84, 408 ㉕81, 168) | | |
| (1) 国出先機関対策 | ○ 国出先機関対策 | 68,735 |
| (2) 広域企画戦略 | ○ 広域インフラ検討 | 3,000 |
| | ○ エネルギー対策 | 3,183 |
| | ○ 首都機能バックアップ構造の構築 | 3,000 |
| | (新) ○ 次期広域計画の策定(新規) | 3,250 |
| IX 組織運営 (㉔205, 905 ㉕267, 935) | | |
| (1) 広域連合の効率的運営 | ○ 関西広域連合委員会・関西広域連合協議会の開催、広域連合事務局運営 | 258,858 |
| (2) 広域連合議会の充実強化 | ○ 広域連合議会の開催、常任委員会・特別委員会活動 | 9,077 |

〔中長期的な視点からの広域課題への対応〕

〔成長する広域連合としての的確な運営〕

I 広域防災

1. 取組みの基本方針（ねらい・視点）

関西全体の安全・安心を向上させ、国内のみならず世界の防災・減災モデル“関西”を実現することをめざし、「関西防災・減災プラン」に基づき、南海トラフの巨大地震等の大規模広域災害への対策を推進する。

| | | H25要求額 |
|-------------------|---|-----------------|
| <u>広域防災（事業費計）</u> | | <u>17,185千円</u> |
| (1) 広域応援体制の整備 | ① 「関西防災・減災プラン」の充実・発展 | 3,275千円 |
| | ② 災害発生時の広域応援体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・広域応援体制の整備（企業・団体等との連携）〈2,372千円〉 ・救援物資の備蓄計画の検討・作成〈344千円〉 （新）・府県民・事業所への普及啓発推進〈1,692千円〉 | 4,408千円 |
| (2) 防災・減災対策の推進 | ③ 関西広域応援訓練 | 8,011千円 |
| | ④ 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修等の実施〈637千円〉 （新）・ワークショップの実施〈444千円〉 | 1,081千円 |
| (3) 防災管理費・災害対応経費 | | 410千円 |

2. 事業概要

(1) 広域応援体制の整備

①「関西防災・減災プラン」の充実・発展 (3,275千円)

南海トラフの巨大地震、原子力発電所事故等の大規模広域災害に対し、関西がとるべき対応方針等を定める「関西防災・減災プラン」を、防災に関する新しい知見や取組を踏まえ、充実・発展させる。

また、関西防災・減災プランに定める取組の実施状況を点検・評価することにより、フォローアップを行い、プランの着実な推進を図る。

1 関西防災・減災プランの策定・改定

- ・感染症対策編（新型インフルエンザ対策編、鳥インフルエンザ等対策編）の策定
- ・風水害対策編の策定
- ・地震・津波災害対策編の改定
- ・原子力災害対策編の改定

2 関西防災・減災プランのフォローアップ（取組の実施状況の点検・評価）

分野別対策編ごとにプランに沿って取りまとめたロードマップ（取組工程表）の年度別計画に基づき、取組の実施状況を点検・評価し、プランの着実な推進を図る。

3 委員会、幹事会の開催

- ・関西広域防災計画策定委員会（3回）
- ・各専門部会（12回程度）
- ・幹事会（構成団体担当課長レベル）（3回）

②災害発生時の広域応援体制の強化 (4,408千円)

大規模広域災害発生時において、広域連合が関西全体の防災に関する責任主体として実施する広域応援等の手順を取りまとめた「関西広域応援・受援実施要綱」を改定するとともに大規模広域災害発生時にこれを運用する。

また、大規模広域災害発生時に企業・団体等と連携した迅速な対応がとれるよう、協定の締結などにより連携体制を整備する。

更に、大規模広域災害発生時に必要となる、食糧等救援物資の備蓄体制を整備するため、「関西広域連合備蓄計画」を策定する。

1 広域応援体制の整備

(1) 災害時における府県間調整の実施

広域連合の役割

- 大規模広域災害時の広域的対応指針の提示
- 応援・受援の調整
- 災害情報の共有、情報の発信 等

(2)「関西広域応援・受援実施要綱」の改定

関西広域応援訓練での検証や国、関係機関との協議・調整等を踏まえ、要綱を充実・改定する。

(3) 企業・団体等との連携の推進

①企業・団体等との協定締結の推進・運用

(例) 旅館・ホテル・民間賃貸業者等 → 避難所、仮設住宅の提供等

②他圏域等との調整・連携

協定を締結している九州ブロック等他圏域と訓練や情報交換を通じて広域連携体制の強化を図る。

③災害時帰宅支援ステーション事業の実施

帰宅支援ステーション・ステッカーや普及啓発ポスター等を作成し、帰宅支援ステーション店舗や主要駅構内等に掲出し、同事業の更なる普及・定着を図る。

④帰宅困難者支援対策の検討

関西における帰宅困難者支援に関する諸課題の解決に向け、帰宅困難者支援対策に係る検討会を設置し検討する。

2 救援物資の備蓄計画の検討・作成

・大規模広域災害発生時に必要となる食糧等救援物資の備蓄計画を検討・作成する。

3 府県民・事業所への普及啓発の推進

(1)「地域防災防犯展」への出展

インテックス大阪で開催される「地域防災防犯展」に出展し、府県民に防災・減災について啓発する。

(2) 関西防災ポータルサイトの作成

構成団体はじめ関西一円の防災・減災に関する情報を網羅し、大規模広域災害発生時の情報発信・共有にも活用可能な防災ポータルサイトを作成する。

(3) 原子力災害対策に係る普及啓発

原子力災害の特殊性等をわかりやすく解説する府県民向けの啓発コンテンツを構成団体と共同で取りまとめ、防災ポータルサイトで発信するとともに、構成団体が作成・配布する啓発パンフレットの共通コンテンツとして活用する。

(2) 防災・減災対策の推進

③関西広域応援訓練 (8,011千円)

関西が一体となって大規模広域災害に対処する体制の強化を図るため、関西防災・減災プラン及び関西広域応援・受援実施要綱に基づき、構成団体、連携県及び防災関係機関が参加する広域応援訓練を実施する。

平成25年度の近畿府県合同防災訓練は、府県3巡目の一番最初の訓練であり、関西広域応援訓練を併せて、一本化したうえで実施する。

1 図上訓練 (広域応援訓練)

- ・ 広域連合災害対策本部設置運営訓練
- ・ 構成団体災害対策 (支援) 本部設置運営訓練
- ・ カウンターパート方式の協議・決定
- ・ 被害状況に応じた広域応援配分の調整
- ・ 広域応援の受け入れ・配分等

2 実動訓練【当番県が負担（H25年度：滋賀県）】

ア 広域応援実動訓練

- ・ 緊急派遣チーム（先遣隊）の派遣
- ・ 被災建築物応急危険度判定士等人員の派遣
- ・ 緊急支援物資の搬送訓練 等

イ 近畿府県合同防災訓練

- ・ 防災関係機関等による実戦的な救出・救助訓練
- ・ 災害現場における各部隊の救助分担等の調整、救急と医療の連携
- ・ 事業者によるライフライン被害の共同復旧
- ・ 避難訓練等による住民の防災意識の高揚 等

④人材育成（1,081千円）

関西広域連合構成府県市の防災担当職員等の災害対応能力の向上を図るため、専門的な研修や関西広域応援・受援実施要綱に基づくオペレーションを確認するためのワークショップを実施するほか、構成団体主催の研修や防災未来センターなど研究・研修機関が実施する研修への参加を促す。

1 基礎研修等の実施

- ・ 防災担当職員向け基礎研修の開催
- ・ 災害救助法実務担当者研修
- ・ 家屋被害認定士養成研修

2 ワークショップの実施（新規）

3 構成団体主催研修や人と防災未来センター主催の災害対策専門研修への積極的な参加